

2018年（平成30年）度

公益社団法人 日本山岳会山形支部総会

期 日 平成30年4月14日（土）

会 場 山形ビッグウイング（交流プラザ）4階 402会議室

山形市平久保 100番地 023-635-3100

開催時刻 午前10時00分～

総 会 式 次 第

1. 開会の辞
2. 支部長挨拶
3. 議長選出 支部長指名
4. 会員の動向・出席状況・定足数の確認
5. 議事録署名人の選出
6. 議事
協議事項
 - I. 第1号議案 平成29年度事業報告（案）
 - II. 第2号議案 平成29年度収支報告（案）並びに会計監査報告
 - III. 第3号議案 平成30年度事業計画（案）
 - IV. 第4号議案 平成30年度会計予算（案）報告事項
 - V. 東北・北海道地区集会について
 - VI. 全国支部懇談会について
 - VII. 公益事業「学校から見える山」について
 - VIII. その他 支部会員増強対策について
7. 閉会の辞
諸連絡



公益社団法人 日本山岳会山形支部

YAMAGATA SECTION OF JAPANESE ALPINE CLUB

支部長のご挨拶

山形支部長 野堀嘉裕

2017年4月8日に開催された日本山岳会山形支部総会で新任の支部長を拝命しました野堀嘉裕と申します。歳はとっているもののほとんど新人ともいえる当方が支部長に任命されたのは、出席された支部会員の皆様が、名前の「ノボリ」の音が「登り」と感じ、違和感を持たなかったことにあると感じています。私は、前田会員に推薦をお願いして会員となった者です。決してトップクライマーではありませんが、山歩きは大好きです。山岳小説を読んだり、山岳写真を見たりすることも大好きです。木村喜代志前支部長から支部長を引継ぎ、事態の大変さに困惑している毎日です。

私は1951年東京都葛飾区、フーテンの寅さんでおなじみの柴又帝釈天のそばで生まれました。山とか森とかが近くに全く無いところで、光化学スモッグが毎日発生していた時代に育ったので、興味を持ったのは自然環境の変化でした。登山は都立両国高校在学中に同窓生と丹沢に行ったのが始まりです。その後、日本大学、山形大学、北海道大学で森林科学を専攻したため、趣味の登山の他、調査研究のために国内外で山行を行ってきました。北海道大学の大学院時代には2月に森林調査を行うため、シールのついたストーというスキーで森の中を歩き回る経験をしました。職業は王子製紙林木育種研究所研究員、東北大学を経て山形大学で教育研究に携わってきました。教育研究分野は森林情報学、森林資源計画学です。2017年4月から山形大学の名誉教授となりました。研究分野である森林科学に関する著書、論文は多数あります。主な山行経歴は1968年八幡平、1969年奥穂高岳、1970年北アルプス白馬岳～唐沢岳縦走、1971年屋久島宮之浦岳、1972年冬季八ヶ岳横岳、1973年北アルプス針の木岳、1974年北アルプス立山、1975年南アルプス北岳、1977年北米大陸国立公園視察、1991年カナダ北極圏アクセルハイベルグ島他化石林調査、1992年ヨーロッパアルプス・ブライトホルン、2009年からモンゴル国フスグル県で森林バイオマス調査を行ってきました。1980年代以降は毎年、鳥海山、月山、朝日、蔵王など山形県内の山に登っています。

2005年から退職まで山形大学の学生サークル「自然に親しむ会」の顧問を務めました。若い人たちの登山への考え方が昔と違ってきていると感じます。第4次登山ブームが再来しているといわれる反面、山岳会への加入は進んでいないのは、この点を理解していない山岳会の体制にも問題があるように思われます。山形支部のメンバーも高齢化が進み、新会員の確保は至上命題です。会員確保が支部長の大きな課題といえるでしょう。支部会の発展に向けて皆様のご協力を切にお願い申し上げます。



モンゴルでの森林調査

公益社団法人 日本山岳会山形支部 規約

平成24年4月1日制定
平成29年4月8日施行

第1章 総則

(名称)

第1条 本支部は、公益社団法人日本山岳会山形支部と称し、英語表示を Yamagata Section of The Japanese Alpine Club とする。

(事務所及び支部地域)

第2条 (1) 本支部は、事務所を山形県内に置く。
(2) 本支部の支部地域は、主として山形県とする。

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 本支部は、公益社団法人日本山岳会(以下「本会」という)定款及び支部に関する規程に基づき、定款第3条に定める活動を本会と一体として行うことを目的とする。

(事業)

第4条 本支部は、前条の目的を達成するため、本会定款第3条、第4条の規定に準拠し、第4条各項に掲げる事業を行う。ただし、定款第4条7項を、本支部機関誌「やま」および他の図書の発行を読み替えるものとする。

第3章 会員等

(支部会員および準会員)

第5条 本支部の会員(以下「支部会員」という。)は、本会の会員であって、本支部の目的に賛同し、本支部が定める会費(以下「支部会費」という。)を納める個人又は団体とする。

2 本支部の準会員は本会の準会員であって、本支部の目的に賛同し、本支部が定める会費(以下「支部会費」という。)を納める個人。

3 本支部は会友を置くことができる。会友は本目的に賛同し、本会が定める支部会費を納める個人又は団体とする。

第4章 役員

(役員)

第6条 本支部に次の役員を置く。ただし、役員は準会員を除く。

- (1) 支部長 1 名
- (2) 副支部長 2 名
- (3) 支部委員若干名 (会計担当者 1 名以上を含む)
- (4) 会計監事 2 名

(役員を選出)

第7条 支部委員及び会計監事は、支部会員の互選により選出する。

- 2 支部長及び副支部長は、支部委員の互選により、山形県内在住する支部委員から選出する。

(役員を選任)

第8条 役員のうち、支部長については、選任後、本会理事会の承認を求めなければならない。

- 2 役員は準会員を除く。

(役員任期)

第9条 役員任期は2年とする。ただし再任を妨げない。

第10条 本支部は、顧問を若干名置くことができる。

- 2 顧問は、支部会員の総意により、支部長が委嘱する。

第5章 会議

(支部総会)

第11条 支部長は、毎年1回以上支部総会を招集し、事業報告、会計報告、事業計画及び予算の承認を得なければならない。

- 2 支部長は、前項記載の事項を支部総会終了後速やかに本会会長に報告しなければならない。
- 3 支部総会における議決権は通常会員のみが持つ。(注：準会員規程第10条の規定により準会員は議決権を持たない。)
- 4 総会は会員数の3分の1以上の出席がなければ議事を開き、議決することができない。ただし、当該議事についてあらかじめ書面で意思を表明したものは出席者とみなす。
- 5 総会は委任状を含む出席者の2分の1以上をもって決し、可否同数の場合は議長の決するところによる。

(役員会等)

第12条 支部長、副支部長、及び支部委員により役員会を構成し、総会に付議する事項および支部の重要事項について処理する。

第6章 会計

(経費)

第13条 本支部の運営に要する経費は、本会からの運営交付金及び事業補助金によるほか、補助金、助成金及び寄付金等をもって充当し、本会と一体的な会計処理を行うものとする。

- 2 支部長は、前記記載の内容を毎会計年度終了後1月以内に本会会長に報告しなければならない。

(支部会費)

第14条 本支部の支部会費は、年額2,000円とし、毎年6月末日までに納めなければならない。

(会計年度)

第 15 条 本支部の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第7章 解散

(任意解散)

第 16 条 本支部は、支部会員現在数の3分の2以上の同意により解散することができる。

(本会理事会の審議による解散)

第 17 条 本支部は、本会支部に関する規程第15条の規定により解散する場合がある。

第8章 規約の変更

(規約の変更)

第 18 条 この規約は、支部総会において出席会員の3分の2以上の決議によって変更することができる。

(重要事項の変更)

第 19 条 本支部の名称及び支部地域の変更等重要事項の変更については、本会理事会の承認を得なければならない。

第20条 本規定に定めない事項については、役員会で議決する。

第9章 事務局

(事務局)

第21条 本支部に事務を処理するため、事務局を設けることができる。

(ア) 事務局には、支部委員1名を事務局長とし、事務局委員若干名をおく。

(イ) 事務局員は、事務局長の推薦により支部長が任命する。

附則

1 この規約は、平成29年4月8日より施行する。

規定

1 支部会員が死亡し、支部事務局にその連絡があった場合は、弔電または弔文を供える。

2 この規定は平成25年4月20日より実施する。

■	■	■	■	■	■	
■	■	■	■	■	■	
■	■	■	■	■	■	
■	■	■	■	■	■	
■	■	■	■	■	■	
■	■	■	■	■	■	
■	■	■	■	■	■	■
■	■	■	■	■	■	
■	■	■	■	■	■	
■	■	■	■	■	■	
■	■	■	■	■	■	■
■	■	■	■	■	■	
■	■	■	■	■	■	
■	■	■	■	■	■	
■	■	■	■	■	■	
■	■	■	■	■	■	
■	■	■	■	■	■	
■	■	■	■	■	■	■
■	■	■	■	■	■	■
■	■	■	■	■	■	■
■	■	■	■	■	■	■
■	■	■	■	■	■	■
■	■	■	■	■	■	■
■	■	■	■	■	■	■
	■	■	■	■	■	■

会員からの一言（敬称略）

今野秀穂 冬の富士山を思いきり見たいと思い、富士吉田市を基点に、山梨、静岡と富士の裾野を車で一周してきました。富士山は矢張り日本一の山でした。
ご盛会をお祈りいたします。もし「やま」H29. 11. 15発行、余分にありましたら二部程お送り下さい。

阿部興二 ありがとう ございます。

志田郁夫 腰の治療に専念中です。

高橋英彦 あいかわらずハビリの日々で 山は遠く眺めるもの
皆様益々お元気にご活躍を

梅津誠一 仕事の都合で出席することができませんので申し訳ございませんが宜しく
お願い申し上げます。

安井康夫 都合により欠席します。みなさんといつかお会いできることをたのしみに
しています。

小野寺喜一郎 昨年春の叙勲に際し、温かなお祝いのメッセージを頂ありがとうございました。
今年はそろそろ山行を始めたいと思っております。
今年もよろしく申し上げます。

佐藤淳志 事務局ご苦労様です。鳥海山スキー場開発計画から25年 日本山岳会自然
保護委員会が取組んだイヌワシ調査が今では行政サイドでの委託業務となり
国交省や環境省の委託調査となりました。

前盛智恵 1月「樹氷原を滑る会」では大変お世話になりました。初めての参加でし
たが、楽しくお仲間に入れていただき、心からお礼申し上げます。主人からも
よろしく申しあげてくれとのことでした。

池田正通 山形県内の山々、百名山が出版されるとききました。関係はどうか？

高橋 毅 今年雪も多く八甲田スキー場へ通っています。

秋野芳子 総会に欠席となりますが役員の方々御苦労様です。御盛会をお祈りいたしま
す。

梅津 博 処用があって出席できません。皆様の活躍を祈念致します。

菅原富喜 運転免許返納、他通院の関係で欠席となります。85歳 高山登山は
（高い山は）あまり登っていません。

粕谷俊矩 この冬は例年になく多く滑りました。いくつになってもスキーは楽しいものです。

推名高夫 体力がなくなり山登りは出来なくなりました。それでも又登りたい。夢であってもいい。

田邊信行 今年度も楽しく有意義な山行等になるよう努力して行きたい。

河口昭俊 今年度もよろしく願いいたします。

木村喜代志 支部運営おつかれさまです。

三浦繁司 御苦労様です。 宜しく願い致します。

武田幹男 今年度も宜しく願いします。

會田茂雄 事務局とりまとめ御苦労様です。

松田孝一 今年も庄内海岸アルプスの落枝片付、笹刈りを行っています。強風の為 倒木もありますが、枝切のみです。

瀬川 昭 1月末に厳冬期の二ノ滝へ、2月山雪荘へ猛吹雪の中、中断 2月17日又山雪荘へ帰りはスキーで楽しみました。農繁期のため総会には欠席します。種まき作業のピークです。

第1号議案

平成 29 年度山形支部事業報告(案)

(自 平成 29 年 4 月 1 日 至 平成30年 3 月 31 日)

期 日	事業名	開催地・会場	管轄・担当
4 月 8 日(土)	平成 29 年度定時総会	山形市 山形ビッグウイング	事務局
5 月 27 日(土) ～28 日(日)	第 33 回東北・北海道地区集会	岩手県遠野市 六角牛山・又の一滝	長岡・伊藤・安井・竹永・田邊・斎藤
6 月 10 日(土)	第1回役員会	羽黒町ゆぽか	事務局
6 月 14 日(水) ～20 日(火)	第24回「アルパインフォトビデオクラブ」写真展	酒田市総合文化センター	菅原・志田・瀬川
7 月 2 日(日)	支部公益清掃登山	村山市 甕岳(1016m)	執行部主催 6 名参加
7 月 9 日(日) ～10 日(月)	自然保護全国集会	岐阜県 長良川温泉	岐阜自然保護委員会 (伊藤・瀬川)
8 月 11 日(祝日) ～12 日(土)	山形・宮城交流登山	交流会+宮城蔵王登山	山形支部から 15 名参加、 登山は豪雨で中止
8 月 18 日(金) ～20 日(日)	第1回支部山行	日本山岳会(山研) それぞれの上高地	安井・木村・長岡・佐藤他
9 月 9 日(土) ～10 日(日)	第2回支部山行	鳥海山滝の小屋 芋煮会	瀬川主催 15 名参加
9 月 23 日(土) ～24 日(日)	支部長・事務局長 全国支部合同会議	東京 プラザ エフ	支部長・事務局長
10 月 13 日(金) ～14 日(土)	全国支部懇談会	茨城県つくば市 つくばグランドホテル	茨城支部、参加なし
10 月 21 日(土)	第2回役員会	羽黒町ゆぽか	事務局
11 月 11 日(土) ～12 日(日)	支部晩餐会 記念登山	蔵王温泉 「ヴァルトベエルグ」	事務局主催 20 名参加
11 月 15 日(水)	支部報「やま」14 号発行	支部	事務局・長岡
12 月 2 日(土)	日本山岳会晩餐会	京王プラザホテル	本部開催、参加なし
12 月 18 日(月)	「学校から見える山」 プレゼント	寒河江市立三泉小学校	粕谷・武田・野堀
1 月 19 日(金) ～21 日(日)	第3回支部山行 蔵王樹氷原を滑る会	蔵王温泉 「ヴァルトベエルグ」	木村他 10 名+ 東北各支部+ASC
3 月 3 日(土)	第3回役員会	羽黒町ゆぽか	事務局
3 月 9 日(金) ～11 日(日)	第4回支部山行	鳥海山	粕谷他 6 名参加

第2号議案

平成29年度収支決算報告書(案)

(予算額－決算額)

【収入の部】

(比較増減の△は予算超過額を表す)(単位 円)

項 目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	摘 要
支 部 会 費	118,000	112,000	6,000	2,000円×56名
交付金助成金	158,000	174,000	△ 16,000	共益50,000 公益46,000 特別支部助成金78,000
雑 収 入	9,871	62,421	△ 52,550	利子・事業残金・寄付
繰 越 金	159,129	159,129	0	
合 計	445,000	507,550	△ 62,550	

【支出の部】

項 目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	摘 要
会 議 費	50,000	44,752	5,248	総会・役員会等
事 業 費	180,000	242,690	△ 62,690	支部報発行, 学校から見える山
事 務 費	50,000	48,731	1,269	用紙・プリンターインク等
旅 費 交 通 費	75,000	0	75,000	
通 信 費	30,000	39,046	△ 9,046	郵送料 メール便代等
慶 弔 費	20,000	0	20,000	弔電
雑 費	20,000	0	20,000	
予 備 費	20,000	0	20,000	
合 計	445,000	375,219	69,781	

収入金額 支出金額 残額
 507,550 375,219 = 132,331 (次年度繰越)

上記の通り報告いたします。

平成 30年 3月 28日

支部長 野堀 嘉裕
 会 計 梅本 幸巳



監 査 報 告 書

平成29年度(公)日本山岳会山形支部の事業報告書・収支決算書
及び関係する諸帳票簿を監査した結果、適正であることを認めます。

平成 30 年 3月 28日

監 事 阿部 興二 印

監 事 梅津 誠一 印

第3号議案

平成30年度山形支部事業計画(案)

期 日	事業名	開催地・会場	管轄・担当
4/14(土)	平成30年度定時支部総会	ビックウイング	事務局
6/9(土)	第1回支部役員会	ゆぽか	事務局
6月14日(木) ～20日(水)	第25回「アルパインフォト ビデオクラブ」写真展	酒田市総合文化センター	志田・瀬川・菅原
7/1(日)	公益清掃登山	やちはば (山形大学演習林)	野堀
7/7(土)	東北・北海道地区集会準備会	ゆぽか	事務局
7/21-22	全国支部懇談会	北海道	北海道支部
8/11(土)目標	「学校から見える山」イラスト プレゼント贈呈式	最上地域(案)	武田・粕谷・野堀
8/31-9/2(金土日)	それぞれの上高地	上高地	安井(会友)・長岡・ 武田・野堀
9/15-16(土日)	東北・北海道地区集会	出羽三山	事務局
9/22-23(土日)	支部長・事務局長 全国支部合同会議	東京	支部長・事務局長
9/29-30(土日)	公益清掃登山＋芋煮会	瀧の小屋	瀬川＋事務局
10/20(土)	第2回支部役員会	ゆぽか	事務局
11/17-18(土日)	支部晚餐会	庄内	事務局
12/1(土)	全国支部長会・晚餐会	東京	本部
2019年 1/18-20(金土日)	蔵王・樹氷原を滑る会	蔵王	事務局
3/2(土)	第3回支部役員会	ゆぽか	事務局
3/8-10(金一日)	スキー登山	鳥海山	事務局＋粕谷

第4号議案

平成30年度収支予算書(案)

【収入の部】

(比較増減の△は対前年比減額を表す)(単位 円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘 要
支 部 会 費	114,000	118,000	△ 4,000	2,000円×57名
交付金、助成金	174,000	158,000	16,000	共益40000 公益40000 特別支部助成金70000
雑 収 入	24,669	9,871	14,798	利子・事業残金・寄付
繰 越 金	132,331	159,129	△ 26,798	
合 計	445,000	445,000	0	

【支出の部】

項 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘 要
会 議 費	50,000	50,000	0	総会・役員会等
事 業 費	200,000	180,000	20,000	東北・北海道地区集会
事 務 費	50,000	50,000	0	用紙・プリンターインク等
旅 費 交 通 費	40,000	75,000	△ 35,000	
通 信 費	30,000	30,000	0	郵送料 メール便代等
慶 弔 費	20,000	20,000	0	祝い酒 弔電
雑 費	20,000	20,000	0	
予 備 費	35,000	20,000	15,000	
合 計	445,000	445,000	0	

上記のとおり提案いたします。

平成 30年 3月 28日

支部長 野堀 嘉裕
会 計 梅本 幸巳



2018年度 第34回 日本山岳会 東北・北海道地区集会のご案内

主催：公益社団法人 日本山岳会 山形支部



出羽三山(羽黒山～月山～湯殿山)をめぐる

日 時：平成30年9月15(土)～16日(日) 1泊2日

場 所：羽黒町 大進坊

住 所：〒997-0211 山形県鶴岡市羽黒町手向95
(TEL 0235-62-2372)

アクセス：*JR羽越線 鶴岡駅から庄内交通バス

羽黒山頂か月山八合目行バス 桜小路下車 目の前です

*自家用車 大進坊手前に広い駐車場(大きな案内板有)

日 程：9/15

15:00 大進坊にて受付

(注：受付前、大進坊に荷物を置き、羽黒山参拝をおすすめします)

16:00～17:00 記念講演

場 所 大進坊大広間

時 間 16:00～

演 題 「出羽三山の歴史と文化」

講 師 大進坊 坊主 早坂 真一 氏

18:30～20:30 (夕食一次交流会)

9/16

全員 8:00 大進坊出発 ➡ バスで移動 ➡ 月山八合目駐車場着

(ここで ① 山行コース ② ハイキングコース に分かれて行動)

① 山行コース(定員は40名程度) 山形支部会員が先導します

八合目駐車場(1,380m)(9:00出発) ➡ 佛生池小屋(1,740m)(10:30) ➡

山頂(1,984m)(12:00着) ➡ 昼食 ➡ 山頂(13:00出発) ➡ 牛首(1,692

m)(13:40) ➡ 金姥(1,622m)(14:20) ➡ 装束場(14:50) ➡ 湯殿

山神社(1,069m)(15:30着) ➡ 仙人沢駐車場(933m)(15:45着)

② ハイキングコース(定員は10名程度) 山形支部会員がご案内します

八合目駐車場(9:00出発) ➡ 弥陀ヶ原(1,500m)散策(1時間半) ➡ 八合

目駐車場(10:30出発) ➡ バスで移動 ➡ ふるさとむら宝谷 宝谷そば(12:

00昼食) ➡ 大日坊(即身仏) ➡ 仙人沢駐車場(14:00着) ➡ 湯殿山神社(15:

00着) ➡ 仙人沢駐車場(15:45着)

全員 16:00 仙人沢駐車場発 ➡ バスで移動 ➡ 大進坊経由 ➡ 鶴岡駅

17:00 着 解散



大進坊ホームページ



バス時刻表

荒天時対応：台風など災害の発生が危惧される場合はコースを変更する場合があります。
会費：16,000円（1泊3食、バス経費、記念品代を含む）

参加申込：

各支部7～8名を参加定員とさせていただきます。また定員は先着順で決定いたしますのでご了承ください。参加希望者は支部ごとにまとめて、別添用紙に**JAC会員番号、氏名、年齢、性別、連絡先（郵便番号＋住所＋電話（携帯）番号＋E-mail）**コース（①山行コース または ②ハイキングコース）をご記入の上、申込み願います（注：同伴の方はJAC会員でなくても参加可能です）

申込先：〒997-0034 鶴岡市本町2-6-9 JAC山形支部 事務局長 佐藤 一広

E-mail： ymg@jac.or.jp

郵送またはE-mailに添付でお願いします

申込締切：平成30年6月30日

参考：出羽三山は磐梯朝日国立公園の北部に位置しており豊かな自然の中の登山コースや見所がたくさんあります。詳細は月山ビジターセンターのホームページをご覧ください。



月山ビジターセンター

2018年度 第34回 日本山岳会 東北・北海道地区集会の準備状況について

役割分担

総括・地図等資料収集・登山届：野堀嘉裕支部長

記念品担当：長岡伸恭前事務局長・佐藤一広事務局長

当日受付：梅本幸巳会計理事・佐藤映子会計補佐

懇親会司会：佐藤一広事務局長

山行先達：粕谷俊矩顧問・鈴木理夫副支部長・河口昭俊副支部長・瀬川 昭自然保護委員・佐藤一広事務局長（10名毎に1パーティー）

ハイキング先達：野堀嘉裕支部長・佐藤映子会計補佐

スケジュール

12月12日（水）：宿坊「大進坊」宿泊予約・バス借り上げ予約（90,000円）（済）

3月26日（月）：東北・北海道地区集会の案内状送付（済）

4月14日（土）：山形支部総会（各支部総会時期）

5月中旬：記念品発注（100人分）

6月30日（土）：申し込み締め切り・集計

7月7日（土）：東北・北海道地区集会準備会・部屋割り

7月中旬：昼食予約

8月中旬：地図・観光案内資料等準備・登山届

9月15-16日（土日）：東北・北海道地区集会

公益社団法人 日本山岳会

第34回 全国支部懇談会のご案内

～カムイミンタラ・神々の遊ぶ庭 花と残雪の大雪山へ～

主催：公益社団法人 日本山岳会 北海道支部

期日：2018年7月21日（土）～22日（日）

宿泊：層雲峡温泉 層雲閣 グランドホテル

（〒078-1792 北海道上川郡上川町層雲峡温泉 電話 01658-5-3111）

※交通機関は別紙参照

参加資格：日本山岳会会員、準会員および関係者

参加費用：20,000円

（1泊2食 山行バス代、ロープウェイ&リフト代、2日目弁当代、写真ミュージアム入館料）

申込期間：2018年3月1日（木）～4月30日（月） ※支部単位で一括申し込み

日程

1日目 7月21日（土） 開会式～記念講演～懇親会

受付開始 午後1時～

（部屋に入れるのは3時以降です。荷物は開会式会場にて預かります）

開会式 午後3時～（浴衣不可）

記念講演会 午後3時30分～4時30分

「母なる大地 大雪山に魅せられて」

講師：山岳写真家（大雪山写真ミュージアム館長）市根井孝悦氏（会員No.7905）

自由時間 午後4時45分～（入浴等）

懇親会 午後6時00分～

二次会 午後8時～

（懇親会と別会場 希望者は別途会費2000円を参加費に加算して納入のこと）

※翌日の交流登山を考慮して午後9時30分までに終了予定

2日目 7月22日（日） 交流登山（A・B・C 3コース）

Aコース 赤岳～黒岳縦走（健脚向き 所要時間約10時間 登山時間約8時間）

午前5時半ホテル出発 午前6時層雲峡バス停発 ⇒ 銀泉台登山口 ⇒ 赤岳 ⇒ 小泉岳 ⇒ 白雲岳分岐 ⇒ 北海岳 ⇒ 黒岳石室 ⇒ 黒岳頂上 ⇒ 7合目（リフト/RW）⇒ 層雲峡温泉 ⇒ ホテル（入浴～解散）

Bコース 黒岳～黒岳石室往復（所要時間5～7時間）

ホテルで朝食（6時半～）のあと7時半出発 RW～リフト乗り継ぎ黒岳7合目 ⇒ 黒岳頂上 ⇒ 黒岳石室（時間あれば桂月岳往復 所要45分）⇒ 黒岳頂上 ⇒ 黒岳7合目 ⇒ リフト&RW ⇒ 層雲峡温泉 ⇒ ホテル（入浴～解散）

Cコース 黒岳7合目散策（所要時間 約5時間）

ホテルで朝食（午前6時半～）のあと8時出発 RW&リフトで黒岳7合目周辺の散策 リフト&RWで層雲峡温泉 ⇒（徒歩10分）大雪山写真ミュージアム作品鑑賞 ⇒ ホテル（入浴～解散）

◎健康・安全管理についてのお願い

体調の管理、登山中の事故について自己責任でお願いします。山岳保険への加入も参加者各自でお願いします。

問い合わせ：日本山岳会 北海道支部 事務局長 藤木俊三
〒005-0832 札幌市南区北ノ沢 2 丁目 1 9 - 1 8
☎&FAX 011-572-6483 携帯 090-1642-2725
メール：49681sakamachi@jcom.home.ne.jp

申し込み：支部で参加者を取りまとめて別紙「申込書」に所定の事項を記入の上、メールで下記のアドレスに送付願います。

メール：49681sakamachi@jcom.home.ne.jp

申し込み期間 3月1日(木)～4月30日(月)

参加費払込：郵便局で「払込取扱票」にて、支部でまとめて申込書の人数分の参加費を下記の「振込先」に5月11日(金)までに送金をお願いします。

振込先 ゆうちょ銀行 普通口座
記号 19080 番号 49971741
加入者名 フジキ シュンゾウ

キャンセル：参加費払込後のキャンセルは発生した事務経費とホテルのキャンセル料を差し引いてお返しします。ただし、キャンセルを申し出た日より返却金額が変わることをあらかじめご承知おき下さい。

(別紙)

層雲峡温泉までの公共交通機関について（空路で旭川または新千歳に入った場合）

◎旭川空港⇒（バス）⇒JR 旭川駅⇒（バス）⇒層雲峡温泉
約 1 時間 約 2 時間

※バスは旭川駅で乗り継ぎ

◎旭川空港⇒（バス）⇒JR 旭川駅⇒（JR 石北線）⇒上川駅⇒（バス）⇒層雲峡温泉
約 1 時間 特急で約 45 分 30 分

※石北線は列車本数が少ないので利用の場合は注意

◎新千歳空港⇒（JR）札幌駅⇒（JR）⇒旭川駅⇒（バス）⇒層雲峡温泉
約 40 分 特急で約 1 時間半 約 2 時間

※札幌駅⇒旭川駅は 30 分～1 時間に 1 本特急運転

◎新千歳空港⇒（JR）札幌駅⇒（JR）⇒上川駅⇒（バス）層雲峡温泉
約 40 分 特急で 2 時間 20 分 30 分

※札幌駅⇒上川駅の直通列車は 6:56 発網走行「オホーツク 1 号」と
17:50 発の「オホーツク 3 号」の 2 本のみで前日に札幌に宿泊するか前日に
層雲峡温泉に入る場合は利用可

《注意》JR 等のダイヤは変わる可能性があります。あくまでも現時点の参考情報です。

参加希望者は山行計画のはがきに○を記入の上、山形支部事務局までご連絡ください。

1. カール・ブッセの詩「山のあなた」

ところで皆さんはドイツの詩人カール・ブッセが書いた「山のあなた」という詩を知っていますか。有名な詩なので、どこかで聞いたことがあるかもしれません。ドイツ語の原文を ^{うえだびん} 上田 敏 という方がほん訳したものです。

山のあなた

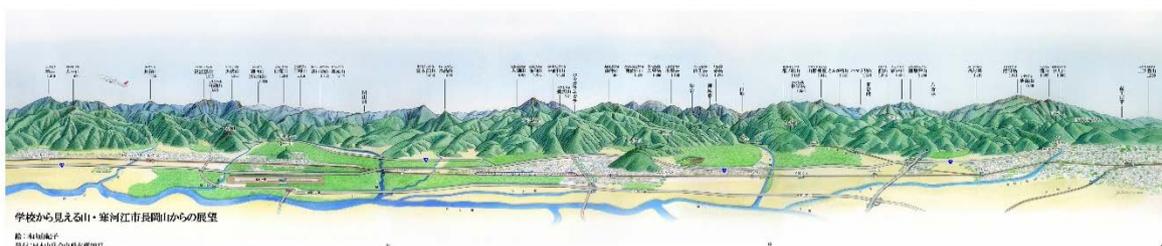
カール・ブッセ

山のあなたの空遠く
 「幸」^{さいわい}住むと人のいう。
 ああ、われひとと ^と尋めゆきて
 涙さしぐみかえりきね。
 山のあなたになお遠く
 「幸」^{さいわい}住むと人のいう

私たちが使っているものより少し古い言葉なので、ちょっと説明しておきます。

「山のあなた」の「あなた」は「はるか向こう」という意味です。目の前の相手をさすあなたではありません。「幸」住むと人のいう、は「そこ幸福があると、人びとが知っている」という意味です。「ひとと ^と尋めゆきて」というのはある特定の人、たとえば友だちといっしょに幸福をさがしに行ったのだけれど、ということです。でもそこには幸福というものはなかった。それで、「涙さしぐみ」、つまりほほを涙でぬらして帰ってきたということです。でも人びとはなお、山の向こうには幸せがあるのだといっている。そんな意味の詩です。

皆さん、この詩を読んでどんなことを考えましたか？ 幸せはどこにあるのでしょうか。山の向こうにあるのでしょうか？ それは皆さんが考えてください。ただ、今も昔も、そしてどの国の人びとも、山を眺めては、その向こうには何があるのだろうと、山の向こうの世界を想像してきたのではないのでしょうか。たとえば平安時代の人びとは、阿弥陀如来 ^{あみだにょらい} というありがたい ^{ほとけさま} 仏様が西の山の向こうから金色の雲に乗って、戦乱や ^{てんさい} 天災 や病気などで苦しんでいる人たちを助けにやってくるのだ、と信じていました。みなさんはどんなことを想像しますか？



2 東北の^{せほね}背骨・^{おう}奥羽^{さんみやく}山脈

山の名前

三枚続きの展望図を見てください。学校の東側に見える山やまです。これらは奥羽山脈と呼ばれ、東北地方の背骨のような山脈です。この山脈は秋田県と岩手県の間をとおって、青森県まで長くのびています。展望図の右はじは蔵王連峰のひとつ中丸山、左はじが^{こしきだけ}甕岳です。高い山が全部で35、町に近い低い山が6つ示されておりあります。これらの山は古い、新しいはありますがほとんどが火山です。ずいぶんたくさんありますね。高さだけで山の名前がしるされていないものもあります。でもこれらの山にもみんな名前があるはずです。人間にひとりひとり名前があるように、山もみんな名前をもっているのです。どうしてでしょう。昔から山は人間の暮らしに深くかかわってきたからです。たとえばひと昔前、人びとは山の木を切って炭を焼き、日常生活の燃料としてつかってきました。また山から流れてくる水を田んぼに引いて稲を育ててきました。ですから山は人びとの暮らしにとって大切な場所だったのです。それは今も同じです。石油、ガス、電気を使うようになったので山の木を切って炭を焼くことはほとんどなくなりました。でも水はやはり山のめぐみです。みなさんが毎日飲んだり使っている水は月山や朝日^{れんぼう}連峰にたくわえられたものです。人びとが石油や石炭などを使うようになったなめ炭酸ガスが増え、大気温度が上がる地球温暖化が問題になっています。温暖化が進むと、海面が高くなり、低い土地が沈んでしまったり、農業、漁業などにも大きな影響がでてくるのが心配されています。でも、山の木々は大気中の炭酸ガスを吸いとり、酸素を出してくれます。ですから温暖化を食い止める役目もはたしているのです。このように、わたくしたちが毎日ながめている山は、わたくしたちと深い関係があるのです。



そんな山と友だちになって欲しいと思います。山と友だちになるなんておかしいですか？みなさんは猫が好きになったり、犬を飼っている人は毎日犬と散歩しますね。動物と友だちになれるように、山とも友だちになれるのです。みなさんは人間の友だちがたくさんいますね？ところで、初めてあった人と友だちになりたいと思ったとき、まず最初にす



ることは何ですか？そう、その人の名前を覚えることですよね。「あの子、あの人」ではなく、ちゃんと名前を覚えて名前呼びあうことが、初めて会った人と親しくなるはじまりです。それはとても大切なことです。道ばた咲いている花も名前を知るまではただの花です。でもハルジオン、ミゾソバ、ノコンギク(野菊のこと)などという名前を覚えて、あなたはその花と友だちになれるのです。山も同じです。山の名前を覚えると、その山がいつのまにかあなたの友だちになるのです。友だちになれば、その人のことが気になりますよね。たとえば友だちが学校を休んだりすると、いったいどうしたんだろうと心配しますね。あなたが山の名前を知っていると、その山を見て、ああ、雪が降ってきれいになったね、と思うようになうでしょう。あなたがそう思ったら、それはあなたがその山と友だちになったしるしなのです。

絵の中の山のどれか一つを選んで、その山の名前を覚えて、絵と実際の風景を見くらべ、その位置を確かめてください。それがあなたの友だちになるかもしれない山です。天気の良い朝にその山が見えたら、お早うとあいさつしてください。友だちにあいさつするようにです。

3. 峠と扇状地

峠

奥羽山脈の連なりをよく見ると、少し低いところがあります。そこは昔から人々が行き来した峠です。展望図には、南から、笹谷峠、二口峠、関山峠と3つの峠がのっています。この中でとくに笹谷峠と関山峠は山形県と宮城県を結ぶ大切な交通路です。みなさんも知っている通り、現在、笹谷峠の下には高速山形道、関山峠は国道48号線のトンネルになっています。展望図にはのっていませんが、そのほかにもいくつか徒歩でしか越えられない峠もあります。自動車や電車がなかった時代に、奥羽山脈を越えて宮城県側と行き来することは大変な苦労だったのです。

梅雨の季節に、湿って冷たい風が奥羽山脈を越えて、山形盆地に流れてくることがあります。この風を「やませ」と呼んでいます。やませは白い滝のような雲を作って山形盆地に流れ落ちます。この雲は滝雲と呼ばれています。みなさんもきっと見たことがあると思います。滝雲も人間と同じように峠を越えてきます。夏にこの雲が発生すると気温が上がらず、稲の穂がみのらなくなるので、おそれられていました。



扇状地

展望図の奥羽山脈のすそ野を見てください。山形市、天童市、東根市、村山市などの街並みが見えますね。そして街並みの山に近い方が高くなっています。この地形を扇状地と呼んでいます。山の間を小石や砂を運んで勢いよく流れてきた川が、なだらかな平野にでてくると流れのいきおい

がなくなり、運んできた小石や砂を残して下流に流れていってしまいます。その小石や砂がちょうど扇^{おうぎ}を広げたような形に広がるので、扇状地という名前がつけました。みなさんの学校も寒河江川の扇状地の上にあります。山形市の^{まみがさきがわ}馬見ヶ崎川、天童市の^{みだれがわ}乱川、東根市の^{のがわ}野川などはそれぞれ扇状地を作っています。扇状地では川の水が地下にもぐりこんでしまうために、水が不足して、水田には向いていません。でも樹木なら良く育ちます。ですから扇状地にはサクランボやリンゴ、ブドウなどの果樹が植えられるようになったのです。山形県が果樹王国とよばれるのは、実はこの扇状地という地形が大きな役割をはたしているのです。みなさんが住んでいる三泉地区もおいしいサクランボの産地ですよ。



4 月山と葉山

もう一枚の絵を見てください。みなさんの学校の上空から西の方を見た風景です。ヘリコプターから見た風景ではありません。イラストレーターの《心の目》に映った風景なのです。みなさんも地図をよく見るとその風景を思い描くことができるのです。行ったことがない場所、行きたい場所の地図さえ持っていれば、どんなところにも行ってしまえるのです。みなさんも地図と仲良くなってください。

さて、この鳥かん図に描かれているのは月山と葉山です。この二つの山は山形県のほぼ中央にあります。そして二つとも火山です。二つの山は兄弟みたいですね。高い方の月山が弟で、葉山はお兄さんです。というのは葉山の方が古い火山だからです。月山は^{でわ}出羽三山のひとつで死者の^{れい}霊が集まり私たちを見守るところと考えられてきました。昔は男の子が成人になる儀式として15歳になると月山に登りました。絵には標高1500mの^{ゆどのさん}湯殿山という山がありますが、その山のふもとに茶色の^{きよがん}巨岩があり、そこから、こんこんとお湯がわき出ています。その岩そのものが湯殿山とよばれています。湯殿山はひとびとが生まれかわるところと考えられ、昔は、東北地方だけでなく、遠くは関東地方からも、多くの人々がお参りにやってきました。私たちのまわりでも「湯殿山」と^ほ彫られた^{せきひ}石碑を見つけることができます。湯殿山は昔から大変な人気スポットだったので。

いっぽう、葉山は古くから農業を守る仏さまのいる山と考えられてきました。その登り口の一つに^{だいえんいん}大円院という大きなお寺があったのですが、現在は土台の石や井戸などが残っているだけです。絵の中でその寺のあとを探してみてください。標高1461mの葉山は寒河江市で一番高い山で、とてもながめのい



い山です。きかいがあったら、ぜひ登ってみてください。月山より低い山ですが、静かで、なかなか風格のある山です。葉山に登ればみなさんの住んでいる三泉地区や学校が見えるでしょう。そして、みなさんはきっと葉山と友だちになり、この山が好きになるでしょう。そうなってくれることを願って、この絵をみなさんにプレゼントします。

日本山岳会山形支部について

日本山岳会は日本で一番古く、一番会員の多い山岳会です。現在 33 の支部があり、そのひとつが山形支部です。私たち会員は、山のことを研究したり、一緒に山登りを楽しんだり、山登りの楽しさを多くの人に知ってもらおう活動をしています。

(文: 日本山岳会山形支部会員 粕谷俊矩 絵: 木山由紀子)

公益社団法人 日本山岳会

〒102-0081 東京都千代田区四番町 5-4 TEL03-3261-4433 fax 03-3261-4441

URL <http://www.jac.or.jp> e-mail jac-room@jac.or.jp

日本山岳会山形支部 支部長 野掘嘉裕

〒997-0166 鶴岡市羽黒町三ツ橋字向田 204 TEL0235-62-2182

日本山岳会山形支部 事務局 佐藤一広 〒997-0034 鶴岡市本町 2-6-9

TEL0235-22-4079 e-mail ymsg@jac.or.jp

平成 29 年 12 月 26 日

日本山岳会山形支部
支部長 野堀嘉裕様寒河江市立三泉小学校
校長 渡辺 聡

御 礼

先日は、お忙しい中ご来校いただき、見事な鳥瞰図と展望図をいただきまして、誠にありがとうございました。さらに、子どもたち一人ひとりに図をいただいた上に、山にかかわる貴重なお話を伺うことができました。感謝申し上げます。

先日お話しをしていただいた4階の視聴覚室は、大変眺めがよい場所です。東に蔵王連峰、西に朝日連峰と月山を眺めることができます。また、校舎北側からは葉山を眺めることができ、山々の名前がわかれば、子どもたちにも教えられると思っていたところにお話をいただき、大変ありがたかったです。お話を伺って、子どもたちも、初めて知ったことが多く、大変勉強になりました。

展望図と鳥瞰図は、大事に掲示させていただきます。代表で数名の児童のお礼の手紙を同封させていただきます。お読みいただければ幸いです。

これから、ますます寒さの厳しい時期を迎えます。どうぞお体をご自愛のうえ、これからのますますのご活躍をご祈念申し上げます。

雪の降る寒い季節となりました。先日は、鳥瞰図をいただきありがとうございました。ぼくが図を見ておどろいた事は三泉小の上から見るとあんなに多くの山があるということです。ぼくがもう一つすごいと思ったことは、平面の地図を見るだけで立体に見えるということです。鳥瞰図をかいた木山さんはとくにすごいなと思いました。ぼくは一日に一個の山を覚えられるようにしています。寒い日が続きますが、これからも山登りをがんばってください。そして、びょうきなどにも気をつけてください。

平成 29 年 12 月 21 日

日本山岳会のみなさん

毎日、雪がふり、寒いですね。先日は、鳥瞰図をいただきありがとうございました。わたしが初めて知ったことは山にはすべて名前があるということです。絵や山の名前がくわしく書かれていてとても分かりやすかったです。とくに、山が好きなお父さんがうれしそうでした。わたしは木山さんのようなすてきなイラストレーターになりたいです。寒い日が続きますが、お体に気をつけてがんばってください。

平成 29 年 12 月 21 日

日本山岳会のみなさん

雪のふる寒い季節となりました。先日は、鳥瞰図をいただき、ありがとうございました。日本山岳会のみなさんが山の名前をたくさん知っていてすごいなと思いました。ぼくは山に登ったことがないので登山がたのしみです。山の名前には

おもしろい名前がたくさんありました。日本山岳会のみなさんの話を聞いてぼくも山にきょう味を持ちました。これからはお体にきをつけて山登りを続けてください。

平成 29 年 12 月 21 日

日本山岳会のみなさん

日本山岳会山形支部のみなさんへ

三泉小学校へ鳥かん図、展望図を贈呈して頂きありがとうございます。最初は何のことかわかりませんでしたけど三泉小学校から見える山の絵でした。私は蔵王と月山くらいしかわからなかったけど、他にもたくさんの山がありました。私は山に興味がなかったけど、話を聞くうちにとっても興味がわきました。家で、つづられた紙を読んでみました。「山と友達になる」という文が心に残っているので、山の名前を覚えて、山の事をもっともっと知って、私も山と友達になりたいです。

日本山岳会山形支部のみなさんへ

泉小学校へ鳥かん図、展望図を贈呈して頂きありがとうございます。ぼくは最初聞いた時何の事かわかりませんでした。でも分かりやすく教えてくださったおかげでとてもよくわかりました。ぼくは月山ぐらいしか山登りは全然行っていませんでした。でも話を聞くととても興味がわいてきました。家で山の名前を言っていました。すると、意外と聞いた事がある山がありました。山の名前を覚えて山と友達になりたいなと思いました。

日本山岳会山形支部のみなさんへ

泉小学校へ鳥かん図、展望図を贈呈して頂きありがとうございます。ぼくは最初鳥かん図とは何のことだろうと思ったけど後から鳥のように上空から見て書いた絵だと教えてくれて納得しました。展望図には、ぼくがあまり興味をもたない山の名前が書いてありました。ぼくは、月山ぐらいしか知らなかったけど、話を聞いていくと、色んな山があることに気づきました。ぼくも山の名前を覚えて山と友達になりたいです。

(様式1)

公益社団法人 日本山岳会

平成 29年度 山形 支部事業報告書

平成30年2月28日

記載者 野堀嘉裕

区分		公益目的事業名と内容(目的、時期、対象者数、参加支部員数等を明確に)		
公 益 目 的 事 業	A	主要な支部公益目的事業1 「学校から見える山」イラストプレゼント		
		「学校から見える山」イラストプレゼント企画の2年目は村山地区の寒河江市立三泉小学校から見える奥羽山脈のパノラマ図と月山葉山の鳥瞰図をイラストレーターに依頼して描いていただき、12月18日に小学校で贈呈式を行った。贈呈式では小学生や教員に向けた粕谷会員によるイラストの解説を行ったが、多くの小学生から山の名前の大事さについて意見や質問が寄せられた。		
	B	主要な支部公益目的事業2 支部交流事業		
		8月11・12日に宮城支部との合同で交流会と交流登山を実施した。8月11日の交流会・勉強会では、宮城支部から遠藤裕一氏による「蔵王古道」についての講話、山形支部から野堀嘉裕氏による「蔵王樹氷原の害虫被害」についての講話があった。残念ながら12日の交流登山は豪雨により中止となった。		
目 的 的 事 業	C	支部公益目的事業 No.3 公益清掃登山		
		7月2日に村山地区の甕岳で公益清掃登山を行った。豪雨の合間であったが6名が参加した。9月9日に庄内地区の鳥海山滝の小屋周辺で公益清掃登山と交流会を実施した。支部友を含めて15名が参加した。		
	支部公益目的事業 No.4			
業	その他の支部公益目的事業			
区分		共益事業名と内容		
共 益 事 業	D	主要な支部共益事業		
		6月14～20日に酒田市文化センターで「アルパインフォトクラブ」写真展を実施した。一般市民を含め、延入場者数は推定1200人。8月18～20日に上高地「山研」周辺で支部山行を実施した。支部友を含め6名が参加。11月11～12日に蔵王温泉ヴァルトヴェルクで支部晩餐会を実施した。支部友を含め20名が参加。		
事 業	D	その他の支部共益事業		
		1月19～21日に蔵王スキー場で「蔵王樹氷原を滑る会」を実施した。東北各支部、アルパインスキークラブメンバーを含め20名が参加した。3月9～11日に山雪荘～滝の小屋～河原宿～外輪山で「鳥海山スキー登山」を実施した。会員他6名が参加した。11月には支部報「やま」14号を発行した。支部会費は1人2000円。総会は4月に年1回。役員会は年3～4回実施。		
業	会員増加への支部の取り組み		30年1月1日会員数	29年12月末迄1年間の新入会員数
	会員募集パンフレットの作成と配布。ホームページの公開。		58	2
	写真展の鑑賞者等にJACの活動を紹介し加入を勧誘する。会員によるクチコミ。			

※1枚目に収まらない場合は2枚目に記載してください。

お願い：データの記入は紙やWORDではなく、ぜひEXCELファイルでお願いします。支部からのこの計画書を総会および内閣府への報告書にまとめる際、ミス为了避免のためと効率化のため支部からのデータを一つのBOOKにまとめコピーで行います。

平成30年度「特別事業補助金」事業報告書

平成30年3月30日 報告

支 部 名	山形支部			支 部 長 名	野堀 嘉裕			
実務責任者	武田 幹男			実務責任者 連絡先	電話	0237-86-0660		
					e-mail	mtkitae@ivory.plala.or.jp		
事業の名称と 該当項目	「学校から見える山」イラストプレゼント 1.会員増強 2.リーダー育成 ③.その他(子どもたちの自然、山への興味関心を育む)							
計 画	全体計画： 年計画(最大3年)				補 助 希 望 額			
経費 (千円)	初年度	2年目	3年目	合 計	初年度	2年目	3年目	合 計
	65	65	65	195	50	70	70	190
実績	全体実績： 年計画				補 助 に よ る 使 用 実 績 額			
経費 (千円)	初年度	2年目	3年目	合 計	初年度	2年目	3年目	合 計
	83.439	90.000		173.349	50	78		128
今年度の経費使用実績								
対象地は広域だったので想定外の出費となった。 ① イラスト製作費 60,000円(本部事業補助で支出) ② 原画(鳥瞰図・パノラマ図)写真代、CD製作費 ……10,000円(本部事業補助で支出) ③ 諸経費(調査、打合せ、報告などの交通費) …… 20,000円(一部本部事業補助で支出) ④ コピー代 …… 20,000円(支部経費から支出)								
概要(目的・意義・)計画概要を簡潔に記載してください)								
日常的に目にしている山々の名称を知ることで、自然景観や山々への興味関心がより高まることは確かである。特に、学校登山を実施している学校では廊下に掲示、あまり馴染みのない鳥瞰図を介して家族での話題となることも期待できる。今後、県内の他3地域(村山-山形、最上-新庄、置賜-米沢)へと広めていく予定である								
今年度の事業の実施経過								
6月10日 候補の選定:小学校10校を巡回し2校を選定 粕谷、武田 7月4日 寒河江市教育委員会へ説明 野堀、粕谷、武田 7月6日 教育委員会より寒河江市立三泉小学校に決定と連絡あり 8月4日 今回のスケッチのコンセプトを武田から木山氏へ伝達 7月~8月 木山氏と佐藤氏 現地確認(2回ほど) 8月27日 現地打ち合わせ 木山氏、佐藤氏、粕谷、武田 10月10日 ラフスケッチ受領 木山氏、佐藤氏、野堀、木村、武田 10月18日 三泉小学校の渡辺校長に中間報告 野堀、粕谷、武田 11月11日 関係者にて打ち合わせ会…….提出方法の検討 12月4日 木山氏・佐藤氏より、作品受領、金額支払い(9万円) 12月11日 教育委員会とマスコミへの報告 12月18日 小学校に完成品贈呈及び生徒への講和								
成果の概要と問題点								
＜成果＞ 地域紙の山形新聞が好意的に取り扱っていただいた。鳥瞰図や展望図は郷土の貴重な資源となりうるとの教育委員会の話があった。 ＜問題点＞ 対象となる山域が広いため展望図が左中右の3面となり、イラスト作成費用が嵩んだ。 著作権、著作権(日本山岳会山形支部)への配慮								
予想される効果と今後の展望								
今後、対象地域が内陸部に移るので、酒田在住のイラストレーターの調査、交通費が増えることが予測される。支部会員数が少ない最上地区、皆無の置賜地区での困難さが予測される。即効的な効果は期待が薄い、子どもたちの心には自然、地形、山への興味関心が確実に根付くので長い目で育てていきたい。								

公益社団法人

日本山岳会山形支部のご案内



ホームページへ

「山形支部」は、公益社団法人日本山岳会(以下、本会という)の全国にある33支部の一つです。当支部は、「山岳に関する研究並びに知識の普及、および健全な登山指導、奨励をなし、あわせて会員相互の連絡懇親をはかるとともに、登山を通じてあまねく体育、文化、および自然愛護の精神の高揚を図るための活動」を、本会と一体となって行うことを目的としています。

主な活動

- ☆ 年1回の総会と晩餐会
- ☆ 公益清掃登山
- ☆ 里山山行やスキー
- ☆ 他支部や本会の活動状況を知ることができ、山行に参加する機会を得ることもできます。

※年間を通し個人山行が中心となりますが、支部活動や積極的な声掛けを身につけることにより活動の幅や山の幅は広がります。

入会金等について

通常会員	入会金	20,000円
	年会費	12,000円
	支部年会費	2,000円
準会員	入会金	5,000円
	年会費	6,000円
	支部年会費	2,000円

※準会員は、一定期間中に当会の活動に触れて、理解した上で、通常会員に移行していただく制度です。

春と秋の山行で、歩いた山をご紹介します。

最上地域	村山地域	置賜地域	庄内地域
加無山	甑岳	白鷹山	高館山
猿羽根山	舞鶴山	祝瓶山	荒倉山
地蔵盛山	蔵王山	西吾妻山	温海嶽
亀割山 他	白鷹山 他	家形山 他	湯ノ沢岳 他

この山どこにあるの? て思ったら地図で探してみよう!

「日本山岳会」のホームページをご覧ください。

入会案内や手続き、会員の特典や歴史、事業報告など、本会の詳しい内容を知ることができます。

また、全国の支部についても、年間の活動などを載せていますので、楽しくご覧いただけます。



私が支部会員になって、良かったな… と思ったこと。

- メジャーな山だけではない、里山の魅力を知ることができました。
- 山登りだけでなく、身近な自然と関わることの楽しさを教えてもらいました。
- 山に関する情報や、安全に歩くための知識が得られました。また大切な仲間もできました。
- 単独登山のリスクを少しでも減らすことができました。
- 「生きて帰ること」をより意識して準備や行動をするようになりました。
- たくさんの方がそれぞれの山との一期一会を楽しみ、心に刻んでいることを知りました。

- 山岳会に所属した活動をお勧めします。山岳会はたくさんあります。その中の一つとして、日本山岳会を考えてみませんか。他の山岳会に所属していらっしゃる方も、日本山岳会に所属した活動を考えてみませんか。
- 入会のご希望、または「山行に参加してみたい」…などありましたら、お気軽にご連絡ください。紹介者が見つからない方は、支部事務局までお問い合わせください。
支部事務局 E-mail: ymg@jac.or.jp

電子メールで
問い合わせ

注: 入会申し込み書への記入は例を参考にしてください。

2017年10月20日作成

支部会員の活動ニュース(2017年4月～)

- 2018年1月30日(荘内日報):前田 直己(会員番号:10217)が酒田市教育委員会主催の出前講座(浜田小学校6年生)「ふるさとの山『鳥海山』への思い」で講演されました。
- 2018年1月19-21日:樹氷原を滑る会。JAC アルパインスキークラブ会員を交えて蔵王温泉スキー場で「樹氷原を滑る会」が開催されました。
- 2018年1月25日(毎日新聞):菅原 富喜(会員番号:11348)日報連 月例入選作 12月度 1位「さんげ、さんげ」に選出されました。
- 2017年12月18日:「学校から見える山」イラストプレゼント。寒河江市三泉小学校の5・6年生にイラストがプレゼントされ、粕谷会員によるイラストの解説が行われました。
- 2017年11月15日:支部報14号が発行されました。
- 2017年11月15日(庄内日報):野堀 嘉裕(会員番号:15137)の「森の時間 ― クロマツ林とショウロ」コラムが庄内日報に掲載されました。
- 2017年11月11・12日:支部晩餐会・蔵王五郎岳、支部晩餐会はヴァルトベェルクで開催され、オークションなどで楽しみました。12日の五郎岳散策は雪のため中止となりました。
- 2017年11月3日(毎日新聞):池田 正通(会員番号:16007)が瑞宝単光章を受賞されました。
- 2017年11月15日(山形新聞)高村真司さん(会員番号:10216)が『第59次南極地域観測隊』の野外観測支援隊として12月21日より南極昭和基地に赴く事になりました。主な任務は南極での装備の管理と野外での観測、活動する隊員の安全確保とのことで、2018年3月末に帰国予定です。
- 2017年9月17日:湯ノ沢岳公益清掃登山。残念ながら雨で中止となりました。
- 2017年9月14日:前田直己氏(会員番号:10217)山形大学農学部主催の農学の夕べ(10月19日、11月9日)で講義されました。
- 2017年8月1日:松田 孝一(会員番号:8362)により母狩山登山道の整備(谷定口の尾根コースの藪狩りとロープ設置)がなされました。
- 2017年7月25日(庄内日報):志田 郁夫(会員番号:12124)が「山に魅せられて」写真展開催、庄内空港3階多目的展示ギャラリーで7/16～7/29。
- 2017年6月16日:瀬川 昭氏(会員番号:13911)、志田 郁夫氏(会員番号:12124)Go To Heaven-鳥海山の麓に生きる写真家たち6人展(7/1～9/3)鳥海山頂美術館(鳥海山山頂小屋新館)。
- 2017年6月6日(荘内日報):志田 郁夫氏(会員番号:12124)が全酒田写真連盟 第44回 土門拳杯写真コンテストで入選されました。
- 2017年5月25日(毎日新聞):菅原 富喜氏(会員番号:11348)日報連 月例入選作 4月度 5位「ブナ、自然への誘い」。
- 2017年5月19日(荘内日報):前田 直己(会員番号:10217):故岸 洋子女史(1934～1992)に縁のあるアップライトピアノ1台酒田市に寄贈。ピアノは岸さんのパネルや年表と共に希望ホールに常設展示。
- 2017年5月10、21日(山形新聞):梅本 幸巳氏(会員番号:12118):旧いこいの村庄内チューリップ救援活動。NPO 法人おうらの里 おおやま再生プロジェクト理事としてボランティア活動されています。
- 2017年5月20日(日本山岳会「山」5月号(No.864)P.13):志田 忠儀氏(会員外):図書受入報告(2017/4)「ラスト・マタギ」―志田忠儀.98歳の生活と意見(角川書店)、長年、大井沢で磐梯朝日国立公園管理人として朝日連峰の天狗の小屋、狐穴小屋、龍門小屋を管理しながら、自然保護、特にブナ林の保護に尽力されました。
- 2017年5月18日(荘内日報):木村 喜代志氏(会員番号:7734)「憧憬の地」自然と人と ―ミャンマー・ラオス・インド北部・ネパール・チベット―写真展開催、5/16～5/26 東北公益文科大学 本学部棟 公益ホール。
- 2017年4月30日(荘内日報):小野寺 喜一郎氏(70)(会員番号:13384)が旭日小授章を受賞されました。
- 2017年4月23日(荘内日報):梅本 幸巳氏(会員番号:12118):第50回日本水墨画展(日本水墨画協会主催) 如月会鶴岡代表 梅本 幸仙(63)青陵賞(5位)。